

令和3年第3回北海道議会定例会〔予算特別委員会・建設部所管〕開催状況

開催年月日 令和3年10月1日(金)
 質問者 日本共産党 菊地 葉子 委員
 担当部課 建設部建設政策局建設政策課
 建設部建設政策局維持管理防災課
 建設部住宅局住宅課
 建設部建築局計画管理課

質問要旨	答弁要旨
<p>一 気候変動対策等について 近年の気候変動は、まさに気候危機と言わざるを得ない状況の中、本道ではゼロカーボン推進局を中心とした北海道地球温暖化対策推進計画のもと対策に取り組まれています。建設部においては、部としてどのような削減目標と、具体的計画をもって取り組んでいくのか、以下、伺います。</p> <p>(一) 事業に関連するCO2について はじめに、建設部で所管している事業からどのくらいのCO2が出ているのか伺います。</p> <p>(二) CO2の把握について なぜ、把握していないのか、なぜ、調べていないのか、調べられない理由は何かあるのか、お伺いします。</p> <p>実効性のある目標、計画達成のためにも現状の排出量をしっかり把握することが重要と考えます。今後、算出方法については検討すべきと、指摘しておきます。</p> <p>(三) 道路維持管理について 道路の維持管理についてですが、どのような取り組みによって、2030年、2050年のCO2削減目標を達成できると考えているのか伺います。</p> <p>(四) 道営住宅について 道営住宅については、ZEH化による省エネ推進はCO2削減が見込める有効な手段と考えますが、道営住宅の省エネ推進について、どのように取り組もうと考えているのか伺います。</p> <p>(五) 公共施設について 公共施設の老朽化が進み、建て替えが必要となってきましたが、道として建て替え時にZEBを積極的に導入すべきと考えますが、いかがか伺います。</p>	<p>○政策調整担当課長 中野 雅博 建設部所管事業に関連するCO2の排出量についてですが、建設部としては、把握しておりません。</p> <p>○政策調整担当課長 中野 雅博 CO2の把握についてであります。「第3次北海道地球温暖化対策推進計画」では、事業毎に統一性のある具体的な算出方法が確立されていないことから、CO2排出量は算出しておりません。</p> <p>○維持担当課長 今井 健 道路の維持管理における取組についてであります。道ではこれまでも道路施設の省電力化に取り組んできたところであり、施設数が多く、消費電力の大きい道路照明について従来のナトリウム灯に比べ、消費電力が半分程度のLEDランプへの交換を進めるなど、ゼロカーボン北海道の実現に向けて、取り組んでまいります。</p> <p>○住宅課長 影山 友規 道営住宅の脱炭素化についてであります。道では、これまで、国の省エネルギー基準を踏まえ、熱交換換気扇や断熱サッシの採用、共用部分などへのLED照明の設置など、省エネルギー化を推進してきたところでございます。 また、太陽光発電を集会所などの電力供給に活用するモデル的な取組を行っているものの、設置費用の負担といった課題の整理が必要と考えておまして、道といたしましては、他県の取組なども参考に、省エネ化や更なる再生可能エネルギーの活用などについて検討し、道営住宅の脱炭素化に努めてまいります。</p> <p>○計画管理課長 高橋 信二 道有施設の脱炭素化についてであります。道では、これまで道有施設の整備において、断熱性能の向上による省エネ化などに取り組んできたところでありまして、今後、更なる脱炭素化を進めるためには、エネルギー効率の高い設備などによる徹底した省エネ化を図るとともに、採光や換気への自然エネルギーの活用、太陽光発電設備の導入検討、道産木材の利用拡大などに、一層取り組む必要があると考えているところでございます。 このため、道では、庁内横断組織である「気候変動対策推進本部」に設置された、関係部によるプロジェクトチームにおいて、脱炭素化に向けた、道有施設の整備のあり方について検討をしているところでございます。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>(六) 建設部の取組について</p> <p>建設部所管でも、公共工事をはじめとして、気候危機対応に必要なCO2削減に資する重要な事業が様々あることが、先ほどからの答弁で明らかですが、にもかかわらず、部内で削減目標や計画を立てていないのは、問題であり、早期に計画を作成すべきと考えますが、見解を伺います。</p> <p>庁内所管部一丸となって具体的な目標・計画を持つことが大事です。気候危機への対応については、知事にも直接伺いたいと思いますので、お取りはからいをお願いします。</p>	<p>○建設部長 北谷 啓幸</p> <p>建設部の取組についてであります。建設部では、これまで、道路照明のLED化や、道営住宅の省エネ化の推進などに取り組んできたところであります。</p> <p>建設部といたしましては、今後とも、ゼロカーボン北海道の実現に向け、「第3次北海道地球温暖化対策推進計画」に基づきまして取組を進めてまいります。</p>